

# 演 題

注：㊧は初期研修医発表  
㊦は専攻医発表

## 第1会場

8:55～9:00

開会の辞

9:00～9:56

一般演題 白血病/MDS

座長 藤田 二郎 (関西ろうさい病院 血液内科)

- ㊧1 遺伝子パネル検査でKMT2A::ELL再構成を検出し、VEN/AZA療法が奏功した正常核型MDS-IB2様症例  
○松川 仁克、西浦 伸子、中村珠里愛、斎藤 冬花、池田 俊紀、徳永 正浩、前田 哲生  
市立吹田市民病院 血液内科
- ㊧2 高 $\gamma$ グロブリン血症を伴ったPTPN11変異陽性CBF $\beta$ ::MYH11急性骨髄性白血病  
○宮北 優花<sup>1)</sup>、池田 俊紀<sup>2)</sup>、斎藤 冬花<sup>2)</sup>、中村珠里愛<sup>2)</sup>、西浦 伸子<sup>2)</sup>、徳永 正浩<sup>2)</sup>、前田 哲生<sup>2)</sup>  
1) 大阪大学医学部 医学科、2) 市立吹田市民病院
- ㊧3 CPX-351療法にて非寛解のAML-MRにIVO+AZA療法を導入し、CRを達成できた1例。  
○壺井 亮介、田村 雄平、寺井 基展、山田 薫、藤原 亮介、嶋田 高広、花本 仁  
近畿大学奈良病院 血液内科
- ㊧4 アザシチジンが奏効した骨髄異形成症候群合併VEXAS症候群の一例  
○岡 はるか<sup>1)</sup>、寺本 寛<sup>2)</sup>、岡村 雅<sup>2)</sup>、吉田 菊晃<sup>2)</sup>、細井 裕樹<sup>2)</sup>、村田 祥吾<sup>2)</sup>、材木 義隆<sup>3)</sup>、園木 孝志<sup>3)</sup>  
1) 和歌山県立医科大学 卒後臨床研修センター、2) 和歌山県立医科大学 血液内科、3) 金沢大学附属病院 先端医療開発センター
- ㊧5 再生不良性貧血と低形成性AMLの鑑別に難渋した一症例  
○中谷 祥之<sup>1)</sup>、清水 拓也<sup>2)</sup>、西島 誠<sup>2)</sup>、小谷 槇一<sup>2)</sup>、丸山 互<sup>2)</sup>、右京 直哉<sup>2)</sup>、赤坂 尚司<sup>2)</sup>、大野 仁嗣<sup>3)</sup>  
1) 天理よろづ相談所病院 総合教育診療部、2) 天理よろづ相談所病院 血液内科、3) 天理医学研究所
- ㊦6 急性前骨髄球性白血病に対する寛解導入療法後、遷延する分化症候群を合併し腫瘍熱との鑑別を要した一例  
○棚田 悠介、岡山 裕介、日野 雅之、高桑 輝人  
社会医療法人若弘会 若草第一病院 血液内科

7 寛解導入療法中に大腸憩室炎を合併した、急性前骨髄球性白血病の一手術症例

○石河 純、紀田 修平

大阪急性期・総合医療センター 血液・腫瘍内科

10:00～10:40

招請講演1

座長 新井 康之（京都大学医学部附属病院 細胞療法科）

『地域で取り組むCAR-T細胞療法 離陸から巡航、さらなる高みへ』

宮尾康太郎

（JA愛知厚生連 安城更生病院 血液・腫瘍内科）

共催：ブリストル・マイヤーズ スタイブ株式会社

10:50～11:30

招請講演4

座長 頼 晋也（近畿大学医学部 血液・膠原病内科）

『悪性リンパ腫の免疫治療ストラテジー ～ゲノム異常と微小環境の関係性～』

遠西 大輔

（岡山大学学術研究院医歯薬学域 腫瘍医学分野）

共催：ジェンマブ株式会社

12:00～12:50

ランチョンセミナー1

座長 松村 到（近畿大学医学部 血液・膠原病内科）

『CML治療戦略 -米国での研究・臨床を踏まえて-』

佐々木宏治

（東京科学大学 臨床検査医学分野）

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

13:00～13:40

一般演題 リンパ腫Ⅱ

座長 細井 裕樹（和歌山県立医科大学医学部 血液内科学講座）

⑧8 ネフローゼ症候群を呈した原発性マクログロブリン血症の一例

○河合 慧<sup>1)</sup>、古林 勉<sup>1)</sup>、山脇 悠加<sup>2)</sup>、浅井 由美<sup>3)</sup>、埜中 広一<sup>1)</sup>、村松 彩子<sup>1)</sup>、  
杉谷 未央<sup>1)</sup>、松本 洋典<sup>1)</sup>、岩井 俊樹<sup>1)</sup>、浦田 洋二<sup>3)</sup>、内山 人二<sup>1)</sup>

1) 京都第一赤十字病院 血液内科、2) 京都府立医科大学大学院医学研究科 臨床病理学、

3) 京都第一赤十字病院 病理診断科

㊦9 結節性リンパ球優位型ホジキンリンパ腫に対しR-CHOP療法が奏功した一例

○吉村 碧海<sup>1)</sup>、岩佐磨佐紀<sup>2)</sup>、福永 諒<sup>2)</sup>、芦本 徹<sup>2)</sup>、阿部 和樹<sup>2)</sup>、口分田美奈<sup>2)</sup>、永井 詩穂<sup>2)</sup>、浅井 愛<sup>2)</sup>、藤城 綾<sup>2)</sup>、西村 理恵<sup>2)</sup>、南口 仁志<sup>2)</sup>、村田 誠<sup>2)</sup>

- 1) 滋賀医科大学医学部附属病院 医師臨床教育センター、
- 2) 滋賀医科大学医学部附属病院 血液内科

㊦10 馬尾症状を契機に診断に至った成人T細胞白血病リンパ腫の一例

○朴 東浩、岩間 彩子、井上すみれ、大嶋 優哉、吉本 真弘、坪倉 幸恵、吉村 英晃、堀田 雅章、長尾 梓、藤田 真也、佐竹 敦志、伊藤 量基  
関西医科大学附属病院 血液腫瘍内科

㊦11 濾胞性リンパ腫治療後に発症した結節硬化型ホジキンリンパ腫の一例

○奥野 芳樹<sup>1)</sup>、藤田 晴之<sup>1)</sup>、辰巳 剛一<sup>1)</sup>、坂井 智美<sup>1)</sup>、森吉 弘毅<sup>2)</sup>、川端 浩<sup>1)</sup>

- 1) 京都医療センター 血液内科・稀少血液疾患科、2) 京都医療センター 病理診断科

12 放射線治療が奏功した皮膚限局ATLLの一例

○山根 裕介<sup>1)</sup>、村尾 泰一<sup>1)</sup>、河村 俊邦<sup>1)</sup>、清田 実希<sup>1)</sup>、牛嶋 陽<sup>2)</sup>、上辻 由里<sup>1)</sup>

- 1) パナソニック健康保険組合 松下記念病院 血液内科、
- 2) パナソニック健康保険組合 松下記念病院 放射線科

13:40~14:28

一般演題 リンパ腫Ⅲ

座長 渡邊 光正 (兵庫県立尼崎総合医療センター 血液内科)

㊦13 スチムリマブ投与中に急速なLDH上昇と汎血球減少を契機にDLBCLへの形質転換と診断された寒冷凝集素症の1例

○金城 愛実<sup>1)</sup>、岡田 慎理<sup>1)</sup>、岡本 裕介<sup>1)</sup>、白川康太郎<sup>1)</sup>、山下 浩平<sup>1)</sup>、高折 晃史<sup>1)</sup>、小屋美津彦<sup>2)</sup>

- 1) 京都大学医学部附属病院、2) 宇治武田病院

㊦14 寒冷凝集素症の増悪に伴い骨髄原発大細胞型B細胞性リンパ腫を発症した一例

○飯田 里奈<sup>1)2)</sup>、菅 真紀子<sup>2)</sup>、日野 彬央<sup>2)</sup>、倉重真沙子<sup>3)</sup>、芥田 敬吾<sup>2)</sup>、高森 弘之<sup>2)</sup>、笠原 秀範<sup>2)</sup>、草壁 信輔<sup>2)</sup>、上田 智朗<sup>2)</sup>、藤田 二郎<sup>2)</sup>、福島健太郎<sup>2)</sup>、植田 康敬<sup>2)</sup>、保仙 直毅<sup>2)</sup>

- 1) 大阪大学医学部附属病院 卒後教育開発センター、
- 2) 大阪大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科、3) 大阪大学医学部附属病院 病理部

㊦15 サルコイド反応を伴ったびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫

○山路 康平<sup>1)</sup>、小森友紀子<sup>2)</sup>、馬場 恭平<sup>3)</sup>、小上 瑛也<sup>4)</sup>、太田 諒<sup>5)</sup>、吉川 浩平<sup>2)</sup>

- 1) 彦根市立病院 診療局、2) 彦根市立病院 血液内科、3) 彦根市立病院 消化器内科、
- 4) 彦根市立病院 病理診断科、5) 彦根市立病院 臨床検査科

㊦16 CLL/SLLに対するBTK阻害薬治療中にnTFHL-AIを背景としてcHLとEBV陽性DLBCLを発症した1例

○橋爪 辰哉<sup>1)</sup>、水原健太郎<sup>1)</sup>、吉田 佳世<sup>1)</sup>、川住 憲史<sup>1)</sup>、山口 順子<sup>1)</sup>、佐々木奈々<sup>1)</sup>、魚嶋 伸彦<sup>1)</sup>、藺部 優大<sup>2)</sup>、三好 寛明<sup>3)</sup>、河田 英里<sup>1)</sup>

- 1) 京都第二赤十字病院 血液内科、2) 京都第二赤十字病院 病理診断科、
- 3) 久留米大学 病理学講座

④17 T細胞大顆粒リンパ球性白血病の治療中に発症したEBウイルス陽性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の一例

○阿部 凌子<sup>1)</sup>、菅原 浩之<sup>1)</sup>、袴田 修佑<sup>2)</sup>、水野 彰<sup>1)</sup>、赤井 奎太<sup>1)</sup>、紀田 侑子<sup>1)</sup>、土居由貴子<sup>1)</sup>、森川陽一郎<sup>1)</sup>、金倉 譲<sup>1)</sup>

1) 住友病院 血液内科、2) 住友病院 総合診療科

18 ヘリコクターピロリ除菌治療後にDLBCLとして急速に悪化した胃MALTリンパ腫

○岡田 睦実<sup>1)</sup>、恩田 佳幸<sup>1)</sup>、松井 宏行<sup>2)</sup>、前迫 善智<sup>1)</sup>、安齋 尚之<sup>3)</sup>

1) 高槻赤十字病院 血液内科、2) 京都大学医学部附属病院 血液腫瘍内科、3) 宇治徳洲会病院 血液内科

14:40～15:20

招請講演6

座長 上辻 由里 (パナソニック健康保険組合 松下記念病院 血液内科)

『多発性骨髄腫における二重特異性抗体による治療の現状と展望』

志村 勇司

(京都府立医科大学大学院医学研究科 血液内科学)

共催：ファイザー株式会社

15:30～16:10

招請講演9

座長 福島健太郎 (大阪大学医学部附属病院 化学療法部)

『再発／治療抵抗性DLBCLに対する治療戦略と免疫療法の位置付け』

蒔田 真一

(国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科)

共催：中外製薬株式会社

16:20～17:00

会長特別企画1

座長 村田 誠 (滋賀医科大学 血液内科学講座)

『もう少し詳しく知りたいあなたのための血栓・止血の検査と治療』

日笠 聡

(兵庫医科大学病院 輸血・細胞治療センター)

17:00～

表彰式・閉会の辞

## 第2会場

9:00~9:56

### 一般演題 リンパ腫 I

座長 古林 勉 (京都第一赤十字病院 血液内科)

#### ⑨19 腸管病変を長期経過観察できたマントル細胞リンパ腫の1例

○安東 一翔<sup>1)</sup>、小林 真也<sup>1)</sup>、山口 将太<sup>1)</sup>、的場 有亮<sup>1)</sup>、大谷 惇<sup>1)</sup>、内原 正人<sup>1)</sup>、八木 秀男<sup>1)</sup>、中村 文彦<sup>2)</sup>

1) 奈良県総合医療センター 血液・腫瘍内科、2) 奈良県総合医療センター 臨床検査部

#### ⑨20 完全房室ブロック・心不全を呈した心臓DLBCLの一例

○松本 藍<sup>1)</sup>、吉田 菊晃<sup>1)</sup>、武田 里美<sup>3)</sup>、田畑翔太郎<sup>1)</sup>、小浴 秀樹<sup>1)</sup>、高野 裕太<sup>2)</sup>、細井 裕樹<sup>1)</sup>、村田 祥吾<sup>1)</sup>、園木 孝志<sup>1)</sup>

1) 和歌山県立医科大学医学部 血液内科、2) 和歌山県立医科大学医学部 循環器内科、3) 海南医療センター 内科

#### ⑨21 胸水セルブロック法にて診断し得た体液過剰関連大細胞型B細胞リンパ腫(FO-LBCL)の一例

○渡邊 久遠<sup>1)</sup>、数藤 孝雄<sup>1)</sup>、廣瀬由美子<sup>2)</sup>、辻西 和幸<sup>1)</sup>、小田 楓太<sup>1)</sup>、長手 泰宏<sup>1)</sup>、谷村 朗<sup>1)</sup>、森 清<sup>2)</sup>、柴山 浩彦<sup>1)</sup>

1) 国立病院機構大阪医療センター 血液内科、2) 国立病院機構大阪医療センター 臨床検査科

#### 22 木村病にDLBCLを合併した一例

○武内 傑<sup>1,2)</sup>、有馬 浩史<sup>1)</sup>、吉永 則良<sup>1)</sup>、阪本 貴士<sup>1)</sup>、山下 浩平<sup>1)</sup>、藤本 正数<sup>3)</sup>、羽賀 博典<sup>3)</sup>、錦織 桃子<sup>1,4)</sup>、高折 晃史<sup>1)</sup>

1) 京都大学医学部附属病院 血液内科、2) 京都大学医学部附属病院 細胞療法科、3) 京都大学医学部附属病院 病理診断科、4) 京都大学医学研究科 人間健康科学系専攻

#### 23 低 $\gamma$ グロブリン血症を契機に診断されたRichter症候群の一例

○新開 泰宏<sup>1)</sup>、細谷 真子<sup>1)</sup>、雨宮 優夏<sup>1)</sup>、中原 航<sup>1)</sup>、松岡 慶樹<sup>1)</sup>、多田 雄真<sup>1)</sup>、油田さや子<sup>1)</sup>、藤 重夫<sup>1)</sup>、里見 英俊<sup>3)</sup>、橋井 佳子<sup>2)</sup>、横田 貴史<sup>1)</sup>、石川 淳<sup>1)</sup>

1) 大阪国際がんセンター 血液内科、2) 大阪国際がんセンター 小児科、3) 大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科

#### 24 四肢に多発するPCMZL(原発性皮膚辺縁帯B細胞リンパ腫)に対してリツキシマブ投与を行った一例

○喜澤 佑介、原田 尚憲、出田 悠人、田添久実代、白神 大志、麥谷安津子  
泉大津急性期メディカルセンター

#### ⑨25 右心房内腫瘤を伴った乳房DLBCLの治療経過

○足立 悠哉<sup>1)</sup>、西山 大地<sup>2)</sup>、板谷 輝海<sup>2,4)</sup>、早田 洋樹<sup>2)</sup>、平川 浩一<sup>2)</sup>、松原 勇樹<sup>3)</sup>

1) 市立福知山市民病院 臨床研修センター、2) 市立福知山市民病院 血液内科、3) 市立福知山市民病院 循環器内科、4) 防衛医科大学校病院 血液内科

10:00～10:40

招請講演2

座長 園木 孝志（和歌山県立医科大学附属病院 血液内科）

『血小板研究の変遷から明らかになる新時代のITP診療』

平松 靖史

（姫路赤十字病院）

共催：キッセイ薬品工業株式会社

10:50～11:30

招請講演5

座長 諫田 淳也（京都大学大学院医学研究科 血液内科学）

『慢性GVHD治療におけるレズロックの位置づけ』

名島 悠峰

（がん・感染症センター都立駒込病院 血液内科）

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

12:00～12:50

ランチョンセミナー2

座長 一井 倫子（大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学）

『イブルチニブ+ベネトクラクスによる慢性リンパ性白血病の初回期間限定治療』

小島 研介

（高知大学医学部 血液内科学講座）

共催：Johnson & Johnson／ヤンセンファーマ株式会社

13:00～13:40

一般演題 合併症

座長 上田 周二（兵庫県立西宮病院 血液内科）

㊦26 自家末梢血造血幹細胞移植の2か月後に胸腹水を伴う重症ウイルス感染症を発症した一例

○潰瀧 将也、和田 裕介、朝倉 崇博、山田 喬之、角谷 宏明、浦瀬 文明

和泉市立総合医療センター 血液・腎臓内科

㊦27 びまん性大細胞型B細胞リンパ腫に対するPola-R-CHP療法中に発症した水痘带状疱疹ウイルス髄膜炎

○三本 一真、小澤 孝幸、久原 甲、江崎 彩乃、木田 享、政家 寛明、  
小杉 智

市立豊中病院 血液内科

㊦28 検出不可能なリンパ腫病変からの腸管穿孔

○氏野 道統、羽田美沙祈、松本 忠彦、有馬 浩史、錦織 桃子、吉永 則良、  
阪本 貴士、山下 浩平、高折 晃史、入江 浩之、子安 翔

京都大学医学部附属病院

㊦29 収縮性心膜炎を合併し死亡した再発DLBCL症例

○古財 拓巳<sup>1)</sup>、西山 大地<sup>2)</sup>、北村 孝一<sup>1)</sup>、板谷 海輝<sup>3)</sup>、早田 洋樹<sup>2)</sup>、平川 浩一<sup>2)</sup>

1) 市立福知山市民病院 臨床研修センター、2) 市立福知山市民病院 血液内科、

3) 防衛医科大学校病院 血液内科

30 維持透析中のt-MDS/AMLに*Aeromonas hydrophila*による筋壊死を伴う敗血症を合併した一例

○高木 求、田中 淳、島津 弥生、岸本 渉、菱澤 方勝

京都桂病院

13:40~14:28

一般演題 稀少疾患

座長 久保 政之 (奈良県立医科大学 血液内科学講座)

㊦31 SLEに合併した溶血性貧血の加療中に、ステロイド抵抗性のリンパ球増多をきたしたT-LGLの1例

○森田 有喜、小西 義延、岸 大智、有馬 浩史、蝶名林和久、石山 賢一、

松井 宏行、吉永 則良、阪本 貴士、諫田 淳也、山下 浩平、高折 晃史

京都大学医学部附属病院 血液内科

㊦32 中枢神経限局型エルドハイム・チェスター病に対してBRAF/MEK阻害薬を導入した1例

○荒尾 幸正<sup>1)</sup>、三宅 義昭<sup>2)</sup>、青野 誠大<sup>2)</sup>、橋本 友里<sup>2)</sup>、服部 高史<sup>2)</sup>、深野あや乃<sup>2)</sup>、

加藤由里子<sup>2)</sup>、藤本 昂<sup>2)</sup>、花本 晶<sup>2)</sup>、口分田貴裕<sup>2)</sup>、芹澤憲太郎<sup>2)</sup>、寺山 敦之<sup>3)</sup>、

森田 泰慶<sup>2)</sup>、田中 宏和<sup>2)</sup>、頼 晋也<sup>2)</sup>

1) 近畿大学医学部、2) 近畿大学医学部 血液・膠原病内科、3) 近畿大学医学部 神経内科

㊦33 初回診断時に*BRAF* V600E 遺伝子変異を認めず、再生検で変異陽性と診断したErdheim-Chester病の一例

○北田 桃香<sup>1)</sup>、谷河 育朗<sup>1)</sup>、細井 裕樹<sup>1)</sup>、野内 隆志<sup>2)</sup>、曾我部慎子<sup>3)</sup>、田中 顕<sup>3)</sup>、

村田 祥吾<sup>1)</sup>、村田 晋一<sup>3)</sup>、佐藤 亜紀<sup>4)</sup>、園木 孝志<sup>1)</sup>

1) 和歌山県立医科大学 血液内科、2) 和歌山県立医科大学 人体病理学、

3) 紀南病院 血液内科、4) 東京大学医科学研究所 血液腫瘍内科

㊦34 免疫抑制療法中にPNH薬剤の変更を行った骨髄不全型PNH症候群の一例

○辻西 和幸<sup>1)</sup>、中川 悠太<sup>2)</sup>、吉田 洋真<sup>1)</sup>、松岡 菜悠<sup>1)</sup>、梅木 佑夏<sup>1)</sup>、松永 一美<sup>1)</sup>、

上田 周二<sup>1)</sup>

1) 兵庫県立西宮病院 血液内科、2) 大阪国際がんセンター 血液内科

㊦35 クロバリマブ投与後の血管外溶血に対しイブタコパンが奏功したAA-PNH症候群の1例

○松本 杏、吉村 英晃、井上すみれ、大嶋 優哉、吉本 真弘、岩間 彩子、

坪倉 幸恵、堀田 雅章、藤田 真也、佐竹 敦志、伊藤 量基

関西医科大学附属病院 血液・腫瘍内科

㊦36 抗菌薬とステロイドによる早期治療が奏功した血球貪食性リンパ組織球症(HLH)合併日本紅斑熱(JSF)の一例

○嶺重 花<sup>1)</sup>、奥田 健大<sup>1)</sup>、松井 道志<sup>1)</sup>、荒澤 壮一<sup>2)</sup>、奥沢康太郎<sup>3)</sup>、小西 佑季<sup>1)</sup>、

羽生 裕太<sup>1)</sup>、井上 雄太<sup>1)</sup>、櫻田 麻希<sup>1)</sup>、伊藤 満<sup>1)</sup>、宮原 裕子<sup>1)</sup>

1) 京都市立病院 血液内科、2) 京都市立病院 感染症科、3) 京都市立病院 皮膚科

14:40～15:20

招請講演7

座長 吉原 哲（兵庫医科大学 血液内科学）

『FLT3陽性AMLに対する移植を軸とした治療戦略 – FLT3阻害薬時代の再発・難治例  
マネジメントー』

西田 彩

（虎の門病院 血液内科）

共催：アステラス製薬株式会社

15:30～16:10

招請講演10

座長 吉原 享子（兵庫医科大学病院 輸血・細胞治療センター）

『実臨床に役に立つ日本人急性骨髄性白血病におけるVEN+AZA療法のリアルワールド  
データ』

山口 博樹

（日本医科大学大学院医学研究科 血液内科学分野）

共催：アヅヴィ合同会社

16:20～17:00

会長特別企画2

モデレーター 吉原 享子（兵庫医科大学病院 輸血・細胞治療センター）

『遺伝子パネル導入から1年 – 「何がわかるのか」から「結果をどう活かすのか」へ –』

ディスカッサント 山口 博樹（日本医科大学大学院医学研究科 血液内科学分野）

佐々木宏治（東京科学大学 臨床検査医学分野）

福島健太郎（大阪大学医学部附属病院 化学療法部）

諫田 淳也（京都大学大学院医学研究科 血液内科学）

## 第3会場

9:00～9:56

### 一般演題 骨髓腫／類縁疾患

座長 八木 秀男（奈良県総合医療センター 血液・腫瘍内科）

㊦37 高IgM血症患者の血性クレアチニン値偽性低値

○堀尾 菜恵、原田 尚憲、出田 悠人、田添久美代、喜澤 佑介、白神 大志、  
 麥谷安津子

泉大津急性期メディカルセンター 血液疾患センター

㊦38 再発難治性多発骨髓腫に対するエルラナタマブ療法後に胃蜂窩織炎を発症した一例

○西久保 遼、羽田美沙祈、松井 宏行、吉永 則良、阪本 貴士、山下 浩平、  
 高折 晃史

京都大学医学部附属病院 血液内科

㊦39 多発性骨髓腫を合併した特発性多中心性キャッスルマン病の一例

○市井サーラ、中尾 綺子、武 修作、青山 有美、田中 康博、常峰 紘子、  
 有馬 靖佳

神鋼記念病院 血液内科

㊦40 発症時より肝腫瘍・リンパ節腫大を伴う難治性骨髓腫に対しide-celが奏効した一例

○熊谷 充弘<sup>1)</sup>、吉原 享子<sup>2)</sup>、松田 育雄<sup>3)</sup>、坂本 明優<sup>2)</sup>、山形 冬樹<sup>2)</sup>、藤田 佳之<sup>2)</sup>、  
 熊本 友子<sup>2)</sup>、高橋 早希<sup>2)</sup>、片山 篤志<sup>2)</sup>、玉置 広哉<sup>2)</sup>、大江 知里<sup>3)</sup>、吉原 哲<sup>2)</sup>

1) 兵庫医科大学病院 臨床研修センター、2) 兵庫医科大学病院 血液内科、

3) 兵庫医科大学病院 病院病理部

㊦41 抗PD-1抗体の投与後に用いた二重特異性抗体によって免疫関連有害事象が惹起された多発性  
 骨髓腫

○大内ふみか<sup>1)</sup>、加藤 大思<sup>1)</sup>、長田 浩明<sup>1)</sup>、藤野 貴大<sup>1)</sup>、水谷 信介<sup>1)</sup>、塚本 拓<sup>1)</sup>、  
 志村 勇司<sup>1)</sup>、酒井 穂花<sup>2)</sup>、梅原 皆斗<sup>2)</sup>、池村奈利子<sup>2)</sup>、山下 紀行<sup>2)</sup>、黒田 純也<sup>1)</sup>

1) 京都府立医科大学附属病院 血液内科、2) 京都府立医科大学附属病院 腎臓内科

㊦42 M蛋白高値とFLC乖離を認めMPC-1を発現したB細胞性慢性リンパ球性白血病の一例

○盧 宰賢、村上 雅樹、吉田 均

大阪南医療センター

43 kappa鎖とlambda鎖を共発現する多発性骨髓腫の一例

○的場 有亮<sup>1)</sup>、大谷 惇<sup>1)</sup>、内原 正人<sup>1)</sup>、小林 真也<sup>1)</sup>、八木 秀男<sup>1)</sup>、中村 文彦<sup>2)</sup>

1) 奈良県総合医療センター 血液・腫瘍内科、2) 奈良県総合医療センター 臨床検査部

10:00～10:40

招請講演3

座長 薬師神公和（神戸大学医学部附属病院 腫瘍・血液内科）

『造血細胞移植後のCMVは敵か味方か：臨床的意義と新規治療』

中前 博久

（大阪公立大学大学院医学研究科 血液腫瘍制御学）

共催：武田薬品工業株式会社

11:35～11:55

評議員会

12:00～12:50

ランチョンセミナー3

座長 片山 義雄（神戸大学医学部附属病院 血液内科）

『個別化治療はもう要らない？～高活性持続型製剤から血友病Aの凝固因子補充療法を再考する』

澤田 暁宏

（兵庫医科大学 血液内科学）

共催：サノフィ株式会社

13:00～13:40

一般演題 血栓・止血

座長 徳川多津子（兵庫医科大学 血液内科学）

㊦44 先行感染後に免疫性血小板減少症とギラン・バレー症候群を同時発症した一例

○孫 胡暉<sup>1)</sup>、玉木 佐季<sup>1)</sup>、立岡 慶祐<sup>1)</sup>、森 美奈子<sup>1)</sup>、國富あかね<sup>1)</sup>、竹岡 友晴<sup>1)</sup>、  
水本 智咲<sup>1)</sup>、辻 將公<sup>1)</sup>、杉山 智子<sup>2)</sup>

1) 大津赤十字病院 血液免疫内科、2) 大津赤十字病院 脳神経内科

㊦45 Inhibitor boostingを認めリツキシマブが奏効した後天性血栓性血小板減少性紫斑病

○橋本 友里、芹澤憲太郎、加藤由里子、花本 晶、森田 泰慶、田中 宏和、  
頼 晋也

近畿大学医学部 血液・膠原病内科

㊦46 悪性高血圧症による血栓性微小血管症と鑑別を要した非典型溶血性尿毒症症候群の1例

○和田みのり、井手口 耕、伊藤 宗、木谷 百花、塩谷野乃子、小藪 助直、  
菅野万璃子、万代 和宏、平沼 直子、藤原 健祐、河田 岳人、爲金 現、  
渡邊 光正

兵庫県立尼崎総合医療センター 血液内科

47 カブラシズマブを使用したiTTP (immune-mediated TTP) の2例

○山形 冬樹、徳川多津子、高橋 早希、澤田 暁宏、日笠 聡、吉原 哲

兵庫医科大学病院 血液内科

48 筋肉内出血時に偶発的にインヒビター発生を認めた軽症血友病Aの1例

○高橋 早希、徳川多津子、澤田 暁宏、日笠 聡、吉原 哲  
兵庫医科大学病院 血液内科

13:40~14:28

一般演題 移植/免疫療法

座長 藤田 真也 (関西医科大学附属病院 血液腫瘍内科)

㊦49 髄液浸潤を伴う治療抵抗性DLBCLに抗癌剤髄腔内投与とエプコリタマブを併用した一例

○新田 彩乃<sup>1)</sup>、小浴 秀樹<sup>2)</sup>、曾我部 慎子<sup>2)</sup>、松本 藍<sup>2)</sup>、榊 絢朱<sup>2)</sup>、田畑翔太郎<sup>2)</sup>、  
吉田 菊晃<sup>2)</sup>、栩野 祐一<sup>3)</sup>、堀 善和<sup>2)</sup>、細井 裕樹<sup>2)</sup>、村田 祥吾<sup>2)</sup>、園木 孝志<sup>2)</sup>

1) 和歌山県立医科大学付属病院 卒後臨床研修センター、  
2) 和歌山県立医科大学 血液内科学講座、3) 海南医療センター 内科

㊦50 自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法を実施したHIV陽性形質芽球性リンパ腫

○明石 桃佳<sup>1)</sup>、柴田 浩気<sup>2)</sup>、河谷沙由花<sup>2)</sup>、山本 雅美<sup>2)</sup>、越智 真一<sup>2)</sup>、久保 政之<sup>2)</sup>、  
森岡友佳里<sup>2)</sup>、長谷川 淳<sup>2)</sup>、田中 晴之<sup>2)</sup>、村田 賢哉<sup>3)</sup>、今北菜津子<sup>3)</sup>、笠原 敬<sup>3)</sup>、  
松本 雅則<sup>2)</sup>

1) 奈良県立医科大学医学部 医学科、2) 奈良県立医科大学 血液内科、  
3) 奈良県立医科大学 感染症内科

㊦51 慢性骨髄単球性白血病から転化した急性骨髄性白血病に対し同種移植を施行した1例

○内田真結美、上條 公守、久林 正斗、町田 朋久、釜江 剛  
りんくう総合医療センター 血液内科

㊦52 難治性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫に対するキメラ抗原受容体T細胞療法後に発症した副腎不全

○藤井 弘暉、久野 雅智、芦田 郷夢、中嶋 康博、森口 慎、中舎 洋輔、  
井戸健太郎、堀内 美令、仲子聡一郎、長崎 讓慈、岡村 浩史、西本 光孝、  
中前 博久

大阪公立大学大学院医学研究科 血液腫瘍制御学

㊦53 Epcoritamab 不耐後に続けて Mosnetuzumab で治療した再発難治性濾胞性リンパ腫症例

○板谷 海輝<sup>1,2)</sup>、西山 大地<sup>1)</sup>、早田 洋樹<sup>1)</sup>、平川 浩一<sup>1)</sup>

1) 市立福知山市民病院 血液内科、2) 防衛医科大学校病院 血液内科

54 同種造血幹細胞移植後にボナチニブ維持療法が有効であったCML bilineage crisis

○加藤由里子、芹澤憲太郎、花本 晶、口分田貴裕、森田 泰慶、田中 宏和、  
頼 晋也

近畿大学医学部 血液・膠原病内科

14:40～15:20

招請講演8

座長 佐竹 敦志（関西医科大学 内科学第一講座）

『原発性マクログロブリン血症に対するブルキンザの治療経験』

大中 貴史

（大阪赤十字病院 血液内科）

共催：ビーワン・メディシNZ合同会社

17:20～19:20

懇親会